

一人ひとりに寄り添い、地域に必要とされるYMCAに — 総主事就退任にあたって —



写真左から
堤弘雄さん 熊本YMCA総主事 (2006年度～2013年度)
岡成也さん みなみYMCA館長/ウエルネス事業部部长/2014年度から総主事に就任

2006年度より2期8年にわたって熊本YMCAの総主事を務めた堤弘雄さんが2014年3月末をもって退任します。4月からは新しい総主事に、みなみYMCA館長、ウエルネス事業部部长を務めてきた岡成也さんが就任することになりました。その就退任に先立ち、お2人による対談が行われました。堤さんには任期中の思い出や活動への思い、今後の展開への期待を、岡さんには今後の抱負などを語っていただきました。

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

YMCA

K U M A M O T O

NEWS

YMCA March 2014 vol.502

3



親子でアウトドアクッキングに挑戦(リフレスおおむた)

- C O N T E N T S**
- ① 一人ひとりに寄り添い、地域に必要とされるYMCAに
 - ② 熊本バンド138周年記念行事/日中韓YMCAピースフォーラム
 - ③ 企業人と留学生の交流会/スピリットワイズメンズクラブ設立総会 アガペNo.96「人を育むYMCA」
REPORT 西日本地区YMCA職員合同研修/台中YMCAからスキー講習受入れ
 - ④ Life 第67回 医療法人ソレイユひまわり在宅クリニック理事長 院長 後藤慶次さん②
Topics 水前寺幼稚園/むさしYMCA/リフレスおおむた
- 中画** 国際協力青少年育成年末募金報告

一人ひとりの賜物を活かして

堤 任期中は、2008年に迎えた熊本YMCA創立60周年をはじめ、2012年の公益財団法人への移行など、数多くの思い出深い出来事がありました。創立60周年を機に「人のいたみを感じ、互いに分かち合い、ともに生きる社会の実現に努めます」という使命実現への思いから、「子どもいのち・アジア」をテーマとする取組みの一環として、「アジア・フレンドシップ・ファン」を創設。また、2011年の東日本大震災では現地へスタッフを派遣しました。その後、地域に貢献するYMCAとして、合志市や熊本市、阿蘇市、日本赤十字社熊本県支部と防災協定を結ぶことができました。

岡 新しく総主事の役割を引き継ぎます。私とYMCAとの出会いは、体育の指導者としてYMCAの門を叩いたことです。当時は学校教育の指導現場を目指していましたが、この出会いにより社会教育団体のYMCAに身を置くことになりました。

YMCAでは、アジアの歴史など学校では学び得ない多くのことを学び、価値観が変わりました。大きな転換となったのは、キリスト教の精神を学び、洗礼を受けたことです。YMCAの職員として様々な経験と役割を担ったことは、今の私の大きな力となっています。様々な仕事を与えられ、日々、いろいろなことにチャレンジで

わたしと聖句



イザヤ書40章31節

主に望みをおく人は新たな力を得る。驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

明日に向かって歩く

東日本大震災後も、突然の大雪や災害が起こり、頼りの生活が、足元から崩れ去るのを目にします。人の理解を越えて、想像できない出来事が起こります。疑問は解決されません。後ろを振り返り、ああしておけばよかった、こうしておけばよかった。でも、人は、明日に向かって歩むことができる動物です。「支え合い」「結びつく」こともできます。不安な中にいることは心の安定を欠き、不安と心配に陥るのです。キリストに支えられようとする私たちも、苦しい時には、苦しいのですが、共にキリストがいてくださることに望みをおいているのです。

振り返り、ああしておけばよかった、こうしておけばよかった。でも、人は、明日に向かって歩むことができる動物です。「支え合い」「結びつく」こともできます。不安な中にいることは心の安定を欠き、不安と心配に陥るのです。キリストに支えられようとする私たちも、苦しい時には、苦しいのですが、共にキリストがいてくださることに望みをおいているのです。

す。死んでも滅びない永遠の命を持つ方が、私たちと共にいてくださるので。信仰は自分だけの慰めのためにあるのではなく、自分を愛するようになる。あなたの隣人を愛しなさい」と気づかせてくださった神さまは、友と一緒に喜ぶように、教えてくださっているのです。神さまがともにいてくださる心の安定は、揺るぎません。あなたも、他者のためのとりなしの祈りをする一人であり、支えられています。

日本福音ルーテル熊本教会
杉本 洋一

きました。

堤 私の人生は、学生時代にYMCAのキャンプリダー募集のチラシを見たことで変わりました。これまでの人生を振り返ると、つらいこと、苦しいこともありましたが、しかしそれは計画された偶然です。すべての経験はその必要があることとされた神のご計画です。計画された神様を信頼して生きていくことは大変重要なことだと思っています。私もYMCAで多くの人と出会い、海外に出向いた中で学びを通して成長させられました。YMCAは人が育つ場です。これから子どもたちが社会教育というプログラムに参加することで、大きく成長すると確信を持っています。今回、YMCAニュースに連載していたコラム「アガペ」を本にまとめました。次の世代に私の人生哲学を伝え、大切な気づきにつながるメッセージとなればと願っています。

今私は、グローバル化する世界で生きることが出来る人材育成の必要性を強く感じています。青少年のコミュニケーション能力、対人関係能力、多様性を受け入れる力が弱くなっていると感じるからです。世界の人々と交わる中では、自分の個性が確立していなければ、自らの意見を述べることはできません。自分とは違うものを受け入れ、「ディファレンス・イズビューティフル」の考えを持つことができる青少年の育成が重要です。すべての青少年が、他者を愛することが出来るよう、まず自分自身を愛せる人に育つ

てほしいと願います。

岡 愛されるより愛すること。他者を理解するためには他者を受容する姿勢が大切ですね。一人ひとりのいのちを大切にすることを、子どもたちにどのように伝えていくかを考え続けたいと思っています。地域社会には困難をおぼえている人が多くいます。ケアの必要な人もいます。まだ私たちが知ることができない現実もあるでしょう。直接働きをできないことでも、他者の協力を取り入れたいと思います。

堤 YMCAが「賜物」を活かす役割を果たすことでしょうか。「賜物」とは、会員の方や地域の方の技術や経験。YMCAの活動は、それらの賜物を活かしながら一人ひとりが大切にされる社会をつくる目的を持っています。YMCAが多くの人の賜物を引き出して十分に活かしていくためのファシリテーターとしての働きができるような人材の育成にも期待しています。

YMCAは常に、支援を必要とする人、社会的弱者に寄り添い続けてきました。今後も同様に、弱者にずっと寄り添うYMCAであってほしいと思います。

岡 それぞれが地域に必要とされるYMCAとなることも大切です。熊本市は政令指定都市となり、区ごとの行政になりました。区ごとの行政サービスの括りに合わせ、各区のコミュニティとの関わりを考えていくべきでしょう。長い目で見て考え、地域YMCAのスタンスを変えて

いくことになると思います。

また、様々な思いや夢を抱いてY M C Aの門を叩き、集う会員が、いつでも思いを語り合える場づくりが必要だと思っております。そこで新しいY M C Aの活動を知ることもあるでしょう。誰かが必ず寄り添い、人と人が触れあう場で思いを解きほぐすことで、新たな展開が生まれるかもしれません。地域Y M C Aは高齢者にとっても居場所となり、生きがいを感じてもらえる場となることができます。地域の中で、施設や物にこだわらず活動ができるY M C Aを目指したいと考えています。

堤 次世代のY M C Aを担う人材育成のためにも、会員の方々が対話できる場が設けられることは大変素晴らしいと思います。今後、Y M C A運営について何かを決定する際、ユースが加わっていることも大事になるでしょうね。

岡 若者に若者としての意見を発言してもらおうことで、どのようなことができるのかを共に考えられるようになると思います。若い人たちの考え方は柔軟です。それまでに知らなかった歴史、学びに触れる機会を得ることで、活動も広がっていくのではないのでしょうか。

熊本バンドの精神を受け継いで

堤 熊本Y M C Aには、いつも変わらず熊本バンドの精神が流れています。熊本バンドのメンバーは、共に祈ることから始まり、祈りをエネルギーとしました。その精神を今後も大切にしながら、未来への歩みを力強くしていただきたいと思います。

岡 2年後には熊本バンドが140周年を迎え、2018年には熊本Y M C Aは70周年を迎えます。大きな節目となる時々を見据えながら、活動を展開したいと思っております。熊本Y M C Aの歩みを、会員と共に学び、協働しながら成功に導くことが、新たな熊本Y M C Aにつながると思っています。

堤 私はこの春、みなみY M C Aのメンバー、ワイズメンズの一員としてミャンマーを訪ねます。今後は、生涯を通して、エイズで両親を亡くした子どもたちのための施設を作るお手伝いをし、継続して孤児に寄り添う生き方をしたいと考えています。

岡 これからも、アジアの歴史やそこに住む人々と向き合っていけるような地球市民を育成し、より活発な活動ができるように取り組んでいきたいと思っています。

堤 岡さんは、学生時代に国体の体操選手として活躍され、その経験を活かして、今は、ボランティアの方々、役員の方々が持つ力を結集し、協働へと導くことができるY M C Aのリーダーシップとしてのスキルを持たれています。誠実なサーバントタイプのリーダーシップを発揮していただけると期待しています。

岡 現代の社会においては、家庭の中でさえ個々に寄り添ってくれる人が少なくなっていると感じています。2014年度から新たに「共に支え合う社会づくり3カ年計画」に取り組んでいきます。Y M C Aに助けを求め多くの方に心を配り、関心を持ち、寄り添っていきます。そして、その輪をしっかりと広げていきたいと思えます。Y M C Aから地域に働きかけることで、大きなムーブメントになると信じて頑張っています。

熊本バンドの青年たちを偲ぶ 記念講演会・早天祈祷会



明治の初期、キリスト教の教えを広めようと誓った熊本洋学校の青年たち、「熊本バンド」の結盟138周年を記念した講演会が1月29日(水)、熊本草葉町教会で開かれました。講師に同志社大学キリスト教文化センター副所長の越川弘英さんを迎え、「水沢の熊本バンド」山崎為徳の生涯をテーマに、次々ようにお話をいただきました。

「山崎為徳は明治時代初期の宗教家、神学者です。熊本バンドに名を連ねた青年たちの中で唯一、九州外の出身者でした。1857年、水沢(現岩手県)に生まれ、熊本出身の胆沢県庁少参事・野田豁通の縁で熊本へ。熊本洋学校に第一期生として入学しました。洋学校ではジェーンズ教師の教育方法や、広く物事を捉えながら学ぶ重要性を学び、多大な影響を受けたようです。同志社英学校では新島襄に高く評価されて後進の教育に

もあたり、水沢ではキリスト教の布教に尽力。学問の領域は神学、数学、化学、歴史、欧米文学などと幅広く、同校の卒業式では、キリスト教と学術の両立の重要性を訴えています。学術と信仰は対立的に捉えるのではなく、それぞれを深く学び、両者を活かすことが大事だと考える一種のジェネラリストだったと考えられるでしょう。彼の人生は24歳8カ月という短いものでしたが、大変濃密でした。経験した出来事、人との出会いを通して、知識教養を学び、広く総合的に物事を捉え、身に付けようとする姿勢には今日でも学ぶべきものが多いです。

また、30日(木)には早天祈祷会を開催しました。大粒の雨の中、早朝の花岡山に集まったのはキリスト教系の学校、教会、団体、熊本Y M C Aなどの関係者約250名。1876年、青年たちが誓いを立て署名した奉教趣意書の原文を熊本大学Y M C A花陵会の竹中亨彰さんが、同口語訳を九州学院高校の岩井琴乃さんが朗読しました。前日の講演に続き、越川弘英さんが「山上の祈り」と題して奨励。キリスト教の信仰に基づき、社会に貢献しようとした若者たちの熱き思いを感じる時となりました。



平和への課題を共有する 日中韓Y M C A ピースフォーラム

1月21日(火)〜23日(木)、日中韓Y M C Aピースフォーラムが広島で開催され、日本・中国・韓国のY M C Aから様々な年代の参加者が集まりました。熊本からは国際ユースボランティアメンバーと職員が参加。平和記念公園でフィールドトリップを行うなど、平和について学習をした後に、意見交換を行いました。

政治的に日中韓の緊張が高まる中で開催となりましたが、このフォーラムでは影響はなく、終始「相手のことを考えよう」「理解しよう」という姿勢が全員に見られました。特に意見交換の場ではそれぞれの主張について「考えが変わった」「違う考えがあると知ることができてよかった」という言葉が聞かれました。多くの話し合いを行い、最後には、次回は「中国の南京で平和の鐘を持ち寄り、平和への祈りをささげよう」と意見がまとまりました。

今回、このフォーラムに参加し、中国・韓国の人たちと意見を交わすことで、様々な考え方を知ることができました。また同時に、私たちは近隣国に及ぼした影響を知り、歴史についてもっと勉強をする必要があるのだと感じました。

みなみY M C A 中村恭浩



国際協力 青少年育成 年末募金

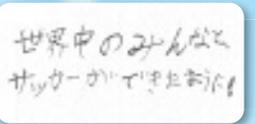
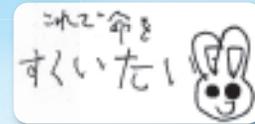
2013.11
~2014.1



たくさんのご協力ありがとうございました。

募金
総額 **12,318,205円**

(2014年2月8日集計時点)



子どもたちから寄せられた
メッセージやイラスト



YMCA祭



街頭募金

東日本大震災復興支援
ボランティアワークキャンプ

九州北部豪雨災害
復興支援

100,000円

東日本大震災
復興支援

200,000円

フィリピン
台風30号
被災地支援募金

831,948円

草の根活動
(NPO・NGO)支援

600,000円

障がい者自立支援活動
(社会福祉法人
熊本YMCA福祉会)

1,000,000円

熊本YMCA学園
奨学金制度
(経済的困難のために
進学できない生徒たちの支援)

2,400,000円

参加費減免制度
(経済的困難のためにYMCAの
プログラムに参加できない
子どもたちの支援)

3,216,257円

事務費(募金振込手数料含む) 370,000円

日本YMCA同盟
国際協力募金

700,000円

青少年
国際交流
プログラム

600,000円

北部タイ山岳民族の
子どもたちの支援

1,000,000円

ボランティアリーダー
育成・派遣
(地球市民育成のため)

1,000,000円

ポニーキャンプなどの
福祉キャンプ

300,000円



東ティモールへのサッカー指導者派遣



タイ・ユースワークキャンプ
タイの子どもたちと共に

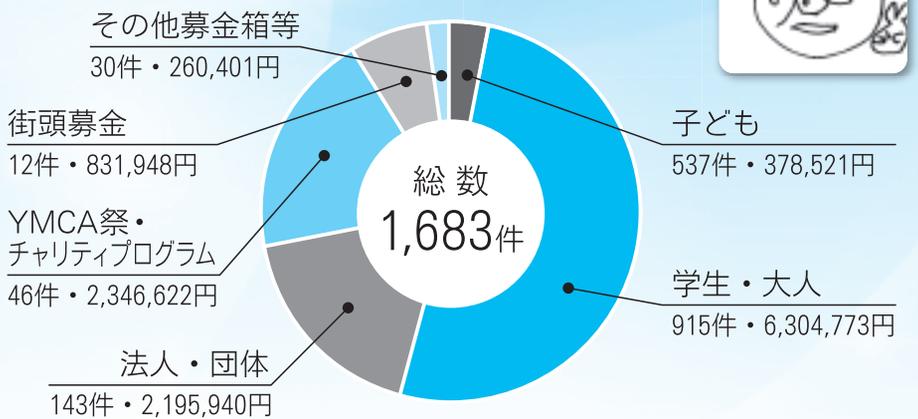


エイズ孤児支援活動を行う
ミャンマーのモガウンYMCA訪問に
ユースが参加



熊本県立盲学校の生徒たちが
阿蘇の大自然の中で楽しんだ
ポニーキャンプ

写真はイメージで、実際の支援活動
とは一致しないものもあります。



募金拠出先

総額 **12,318,205円**

集まった募金は、
国際協力や青少年の育成、
災害支援などのために
役立てられます

子ども・青少年育成

アガペ No.96

総主事
堤 弘雄

人を育むYMCA

8年間掲載されましたコラム「アガペ」も今回をもって終わりとなります。これまでの皆様のご愛読に心より感謝申し上げます。

さて、私とYMCAとの関わりは大学の入学式の時に溝に落ちていた1枚のYMCA野外活動のチラシを拾ったことから始まりました。大学の4年間、YMCAのキャンプリーダーとして充実した青春時代を過ごし、卒業後、YMCAの職員となって35年の月日が流れました。39年間にわたるYMCAで過ごした人生を振り返って思うことは、「YMCAは人を豊かに育てるところ」だということです。私自身もYMCAによって育てられました。そして、これまで関わった子どもたちや学生たちも心豊かに育っています。

子育てに関して、最後に思うことは、大切なのは、子どもの教育のすべてを公教育(小中学校等)のみに任せるのではなく、子どもの成長に必要な体験や経験をする機会を親が主体的、積極的に与えてあげることだということです。

スポーツや野外活動、グローバル教育としての語学教育、ボランティア活動、国際交流活動など社会教育活動は多岐にわたりますが、すべてYMCAで経験できることです。

特に、小集団活動(グループ活動)の経験を子どもたちにさせてあげてほしいと思います。そこで得た対人関係能力や人との信頼関係は今後の人生を豊かに逞しく生きる力となることでしょう。YMCAの全てのプログラムが小集団活動(グループワーク)の手法を大切にしているのは、そのような効果が期待できるからなのです。

子どもたちの成長が豊かに育まれますように。皆様の人生の上に神様の豊かな祝福がありますように。心から祈りつつペンを置かせていただきます。

感謝



最後に茶話会を行い、リラックスした雰囲気ですべて交流の時をもちました。相互理解を図るよい機会になりました。

ICR

佐藤万由美

YMCA大学院日本語科で学ぶ留学生に、企業で働く人々と接する機会をもちてもらおうと、企業人と留学生の交流会が東部YMCAで開催されました。中級クラスで学ぶ留学生8名とYMCAフィランソピー協会会員企業の7名が参加。留学生の興味・関心事や生活するうえで困ったこと、将来の夢などの事前アンケートをもとに、1対1の会話練習ボランティアを実施しました。名刺を交換して自己紹介を行い、その後、日本に来て驚いたことや、文化や習慣の違い、趣味などの話題から話し合いを始めました。

進路を考える時期にある中級クラスの留学生は「日本で就職するには大学、大学院のどちらを出たほうが有利か」「日本の企業で働くうえで大事なことは何か」「外国人でも就職は可能か」など、日本での就職に関して質問し、企業人からのアドバイスに耳を傾けていました。

企業人からは、「将来の夢を持ち、海外でことばを学ぶ行動力に感心した」「自分が学生時代はそんなに明確な目標は持っていなかった」「中級になると日本語力も上がり、質問のレベルも高かった」「協会の行事に何度か参加してくれた学生が覚えていてくれたのはうれしかったです。」などの感想が寄せられました。

YMCAフィランソピー協会の 企業人と日本語科留学生が交流



地域に根を下ろし、世の光として生きる 熊本スピリットワイズメンズクラブ設立総会

1月25日(土)、熊本で10番目のワイズメンズクラブ「熊本スピリットワイズメンズクラブ」の設立総会が東部YMCAで開催されました。

設立の目的は「熊本市東部地区YMCA事業の発展とサポート体制を構築する」。活動拠点の東部YMCAは、熊本市中央区帯山の地にあつて40年以上の歴史を紡いできました。現在、YMCA学院の建築科やアジアからの留学生が通う日本語科福祉人材養成を中心とした生涯学習事業等を展開しています。将来を嘱望される建築科の若者や留学生、地域で活躍する福祉人材等を支援するサポーターとして、地域に根付き、世の光としての働きが期待されます。

当日は、日本福音ルーテル教会 教会牧師の角本浩さんによる開会礼拝、熊本スピリットワイズメンズクラブ設立準備委員長の横田博さんによる設立経過報告、スポンサークラブである熊本ひがしワイズメンズクラブ会長の宮崎隆二さんのエール、熊本スピリットワイズメンズクラブ会長の紫垣正仁さんによる「熊本スピリットが世界を変える！」と題した決意表明が行われました。その後、茶話会を行い、設立をお祝いしました。



本部事務局 久保誠治

YMCA運動を世界に展開しよう 西日本地区YMCA職員合同研修

■日程/1月27日(月)~30日(木)

■場所/阿蘇YMCA

西日本地区のYMCA職員が参加する合同研修「ステップ1」が開催されました。とげぬき生活館館長の坂口順治さんを講師に迎え、熊本YMCAの職員2名を含む9名が学びを深めました。参加者の感想には「YMCAとキリスト教の理解が深まった」「リソース・モビリティの可能性を感じた」等がありました。この春には、これまでのステップ1研修をまとめた「Yの活性化入門」が日本YMCA同盟から発行される予定です。



深まった」「リソース・モビリティの可能性を感じた」等がありました。この春には、これまでのステップ1研修をまとめた「Yの活性化入門」が日本YMCA同盟から発行される予定です。

台中YMCAから スキー講習受入れ

■日程/2月5日(水)~9日(日)

■場所/九重森林公園スキー場

昨年引き続き台湾の台中YMCAから18名が、九重でのスキー講習のために熊本YMCAを訪れました。2名はリピーターで、熊本YMCA職員の指導をもう一度受けたいと、この日を心待ちにしていたということです。宿泊した阿蘇YMCAが一面雪に覆われた日は、雪合戦をする姿も見られました。

また、今回は日本のYMCAが実施するスキーワッペンテストで参加者のレベル認定を行いました。

富森靖博

Life

第67回

“いのち”“生活”
“いきがい”をテーマに
したメッセージ。



医療法人ソレイユ
ひまわり在宅クリニック
理事長 院長
後藤 慶次さん ②

コミュニティの中で見守られ、 幸せに生き、亡くなる社会を目指して

在宅医療で患者を診るのは主に家族です。家族が、医師や看護師から、病状の進行に伴って次第に弱り、亡くなるまでの説明を受け、患者が苦しめない対応方法を知っておくと、ホスピスと同様のケアを自宅で行うことができます。クリニックに、真夜中に電話が掛かってくる時は、「今亡くなりました」という内容が大半。人が生命を止めていく時は、医師や看護師のものでなく、家族や身近に付き添ってきた方たちのもの。家族はしっかり患者の生命と死に向き合うことが大事です。また、亡くなるまでの一連の流れ、穏やかな死を見ると、死ぬことが怖くなくなります。自宅で亡くなった方が、その後も家のどこかで見守ってくれていると感じることもあるでしょう。生まれ育った家で家族に見守られながら亡くなることは、ごく自然なことだと思います。

コミュニティの中で皆が助け合い、地域に見守られながら幸せに生き、亡くなっていくような社会になってほしいと願います。病気を前にすると本人も家族も気持ちが揺らぐものです。その前に自らの死を考え、残される方々のことを考えることも大切です。終わりを考えることは、今をどのように生きるかにつながるからです。

YMCA会員交流プログラム ファミリーデイキャンプ

YMCAに集う様々な仲間と出会い、交流の輪を広げませんか。飯ごう炊飯体験や赤牛の丸焼き、ピザ作り、ハイキングなど、家族で楽しめるプログラムで交流の時間を過ごしましょう。

日時:2014年3月21日(金・祝)
現地集合・解散の方 10:00集合
送迎バス利用の方 中央YMCA8:30集合
場所:阿蘇YMCA
対象:YMCA会員とご家族
参加費:大人1,000円、学生・子ども500円
(バス利用の場合、別途一人500円・温泉代別途)



お問合せ/熊本YMCA ICR TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877
E-mail icr@kumamoto-ymca.org

アガペ“あなたのたましいが輝く92のメッセージ”

総主事の堤弘雄さんにより8年にわたり連載されたコラムが「アガペ“あなたのたましいが輝く92のメッセージ”」として1冊の本になりました。税込み1,000円です。お近くのYMCAの窓口または上通まるぶん書店でお求めください。



お問合せ/熊本YMCA本部事務局
TEL096-353-6397 FAX096-324-7877

TOPICS 地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

地域のコンビニエンスストア 水前寺

昨年から、幼稚園の近隣にあるファミリーマート熊本出水2丁目店と交流を続けています。6月の花の日には、手作りのプレートをつけた花かごを園児が届け、1月には募金への取組みの掲示と手作り募金箱の設置をお願いして協力していただきました。また、園児たちの絵画を、母の日やクリスマスに合わせて展示。地域の皆さんに見ていただける場になっています。



今後も積極的に地域と交流し、YMCAの取組みを届けて地域に必要とされる関係づくりを広げる活動を続けていきたいと考えています。

水前寺幼稚園 井上和美

卒業するリーダーたち むさし



むさしYMCAでは今年度支えてくださった皆さんや、この春から社会人になるなどの理由でリーダー活動を卒業する皆さんに感謝の気持ちを込め、2月15日(土)に「むさしYMCA感謝会」を行いました。リーダー、むさしワイズメンズクラブ、運営委員の皆さん、職員の総勢35名が参加。卒業する皆さんの挨拶を聴きながら、改めてリーダーの熱い想いに支えられていることに気づかされました。多くの仲間がいたからこそ、YMCAの活動を頑張ることができました。本当にありがとうございました。卒業おめでとう！

むさしYMCA 丸目陽子

フラワーアレンジメント リフレス



リフレスおおむたには、研修室や創作室を定期的にご利用いただいている団体が多くあります。陶芸活動を行っている団体が多い中、フラワーアレンジメントをされている「フローリア」という団体があります。その先生から「受付に飾ってください」と、きれいなお花を時折いただきます。お花そのものもさることながら、そのアレンジがとても素敵です。

先生のリフレスに対する優しい気持ちと、お花の美しさ、飾られた美しさに、職員も来館者もとても和んでいます。

リフレスおおむた 秋寄光輝

Kumamoto YMCA Network

中央YMCA	☎096-353-6391	水前寺幼稚園	☎096-362-4141
YMCA学院	☎096-353-6393	阿蘇YMCA	☎0967-35-0124
YMCA学院高等学校	☎096-353-6391	赤水保育園	☎0967-35-0024
本部事務局・ICR	☎096-353-6397	尾ヶ石保育園	☎0967-32-0213
みなみYMCA	☎096-378-9370	永草保育園	☎0967-32-0810
上通YMCA	☎096-352-2344	黒川保育園	☎0967-34-0402
東部YMCA	☎096-382-6661	リフレスおおむた	☎0944-58-7777
ながみねファミリーYMCA	☎096-385-0676	就労継続支援	☎096-312-1333
むさしYMCA	☎096-248-6334	A型事業所WELL-B	



思いやり 誠実さ 責任感 尊敬心 キャラクター・ディベロップメント推進中

東部YMCAには、専門学校の建築科以外に、日本語科と生涯学習があります。日本語科にはいろいろな国の留学生がおり、生涯学習には職業訓練を受ける社会人受講生がいます。特殊な生徒構成の中で、YMCAのキャラクターディベロップメントの価値を理解してもらうために様々な工夫をしました。その中で生まれたのが、お手洗いに添えるお花に花言葉を添えて、思いやりの心を伝える運動でした。「花言葉を読むと心が和む」と留学生が笑顔を見せました。(東部 南ゆり)



【基本聖句】喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマの信徒への手紙12章15節)

熊本YMCAの使命

共に生きる社会
ウェルネス活動

地球環境の保全
ボランティア活動

生涯学習の推進
平和な世界

■ホームページ www.kumamoto-ymca.or.jp

■メールマガジン登録
www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi

